

3 電話 d e 詐欺への対策について

(1) 自宅の電話機への対策

◇「普段から留守番電話設定にしている」と「ナンバーディスプレイを活用し、不審な番号には出ない」が約3割

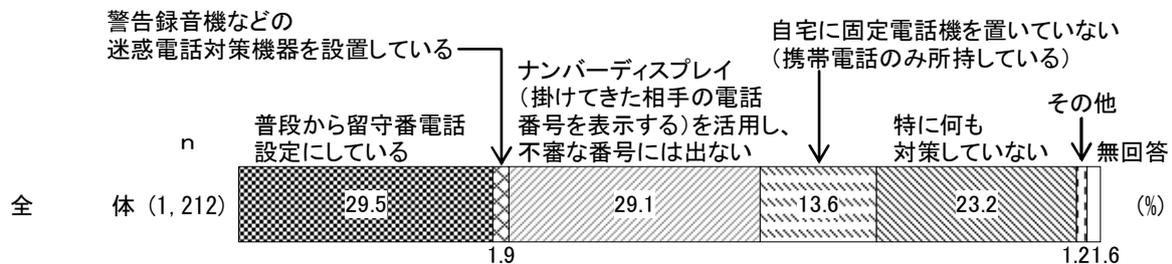
県では、昨年、オレオレ詐欺や振り込め詐欺などの、「電話 d e 詐欺」の被害件数・被害額がともに過去最悪となり、早急な対策が必要となっています。

県と県民が共に「電話 d e 詐欺」への対策を進めるため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問11 「電話 d e 詐欺」に遭わないためには、「犯人と直接話さない」ひと工夫が大切です。

あなたは、自宅の電話機にどのような対策をしていますか。（○は1つ）

<図表3-1> 自宅の電話機への対策



自宅の電話機にどのような対策をしているか聞いたところ、「普段から留守番電話設定にしている」(29.5%)と「ナンバーディスプレイ（掛けてきた相手の電話番号を表示する）を活用し、不審な番号には出ない」(29.1%)が約3割となっている。

「特に何も対策していない」(23.2%)は2割を超えており、「自宅に固定電話機を置いていない（携帯電話のみ所持している）」(13.6%)は1割台半ばとなっている。（図表3-1）

【地域別】

地域別にみると、「普段から留守番電話設定にしている」は“葛南地域”（37.5%）が約4割で高くなっている。

「特に何も対策していない」は“君津地域”（37.8%）が約4割で高くなっている。（図表3-2）

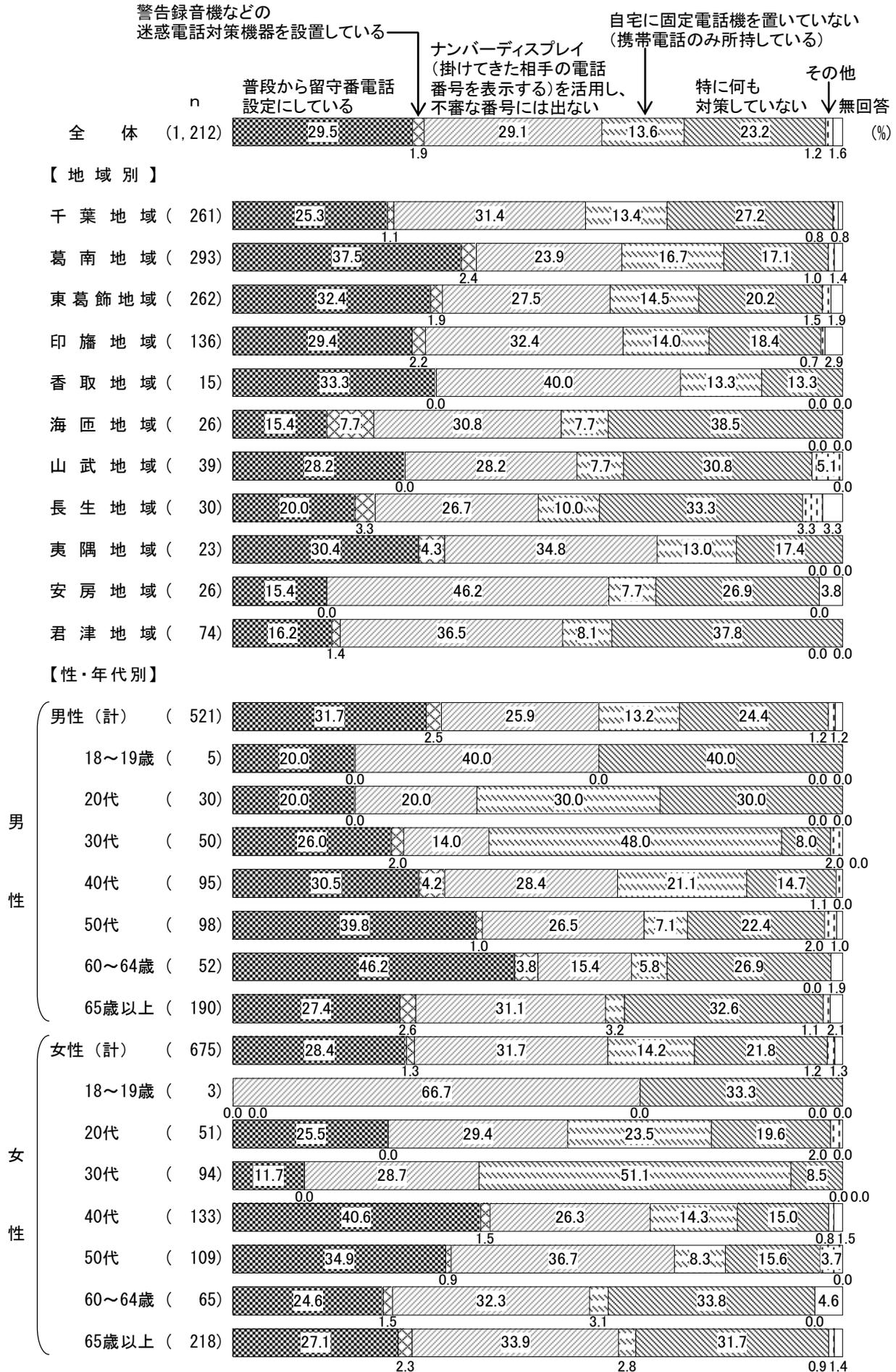
【性・年代別】

性・年代別にみると、「普段から留守番電話設定にしている」は男性の60～64歳（46.2%）が4割台半ば、女性の40代（40.6%）が4割、男性の50代（39.8%）が約4割で高くなっている。

「自宅に固定電話機を置いていない（携帯電話のみ所持している）」は女性の30代（51.1%）が5割を超え、男性の30代（48.0%）が約5割、男性の20代（30.0%）が3割で高くなっている。

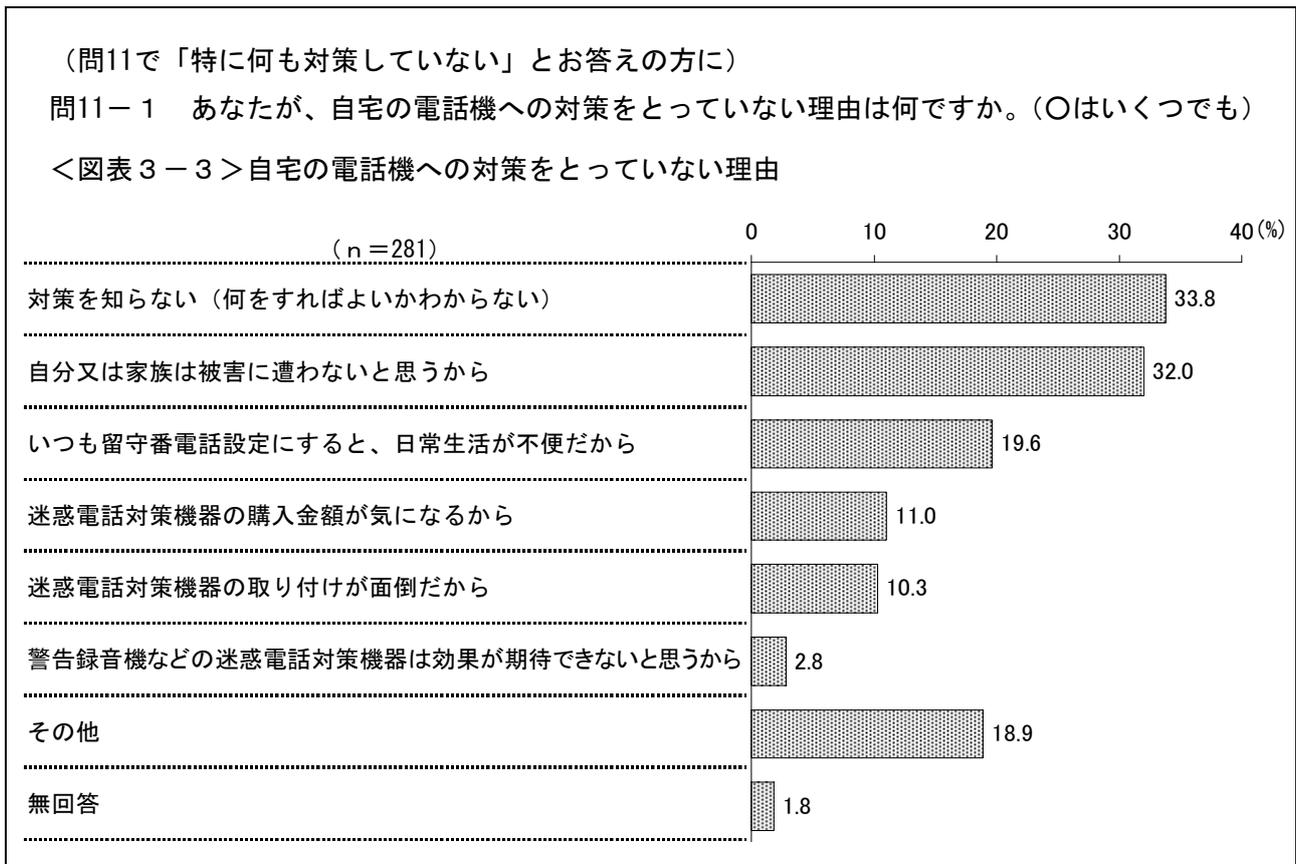
「特に何も対策していない」は女性の60～64歳（33.8%）が3割台半ば、男性の65歳以上（32.6%）と女性の65歳以上（31.7%）が3割を超えて高くなっている。（図表3-2）

<図表3-2> 自宅の電話機への対策／地域別、性・年代別



（1－1）自宅の電話機への対策をとっていない理由

◇「対策を知らない（何をすればよいかわからない）」が3割台半ば



自宅の電話機への対策で「特に何も対策していない」と回答した281人を対象に、その理由を聞いたところ、「対策を知らない（何をすればよいかわからない）」（33.8%）が3割台半ばで最も高く、以下、「自分又は家族は被害に遭わないと思うから」（32.0%）、「いつも留守番電話設定にすると、日常生活が不便だから」（19.6%）、「迷惑電話対策機器の購入金額が気になるから」（11.0%）が続く。（図表3－3）

【地域別】

※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】における属性の分析は触れていない。
 （10ページ「報告書の見方（5）」を参照）

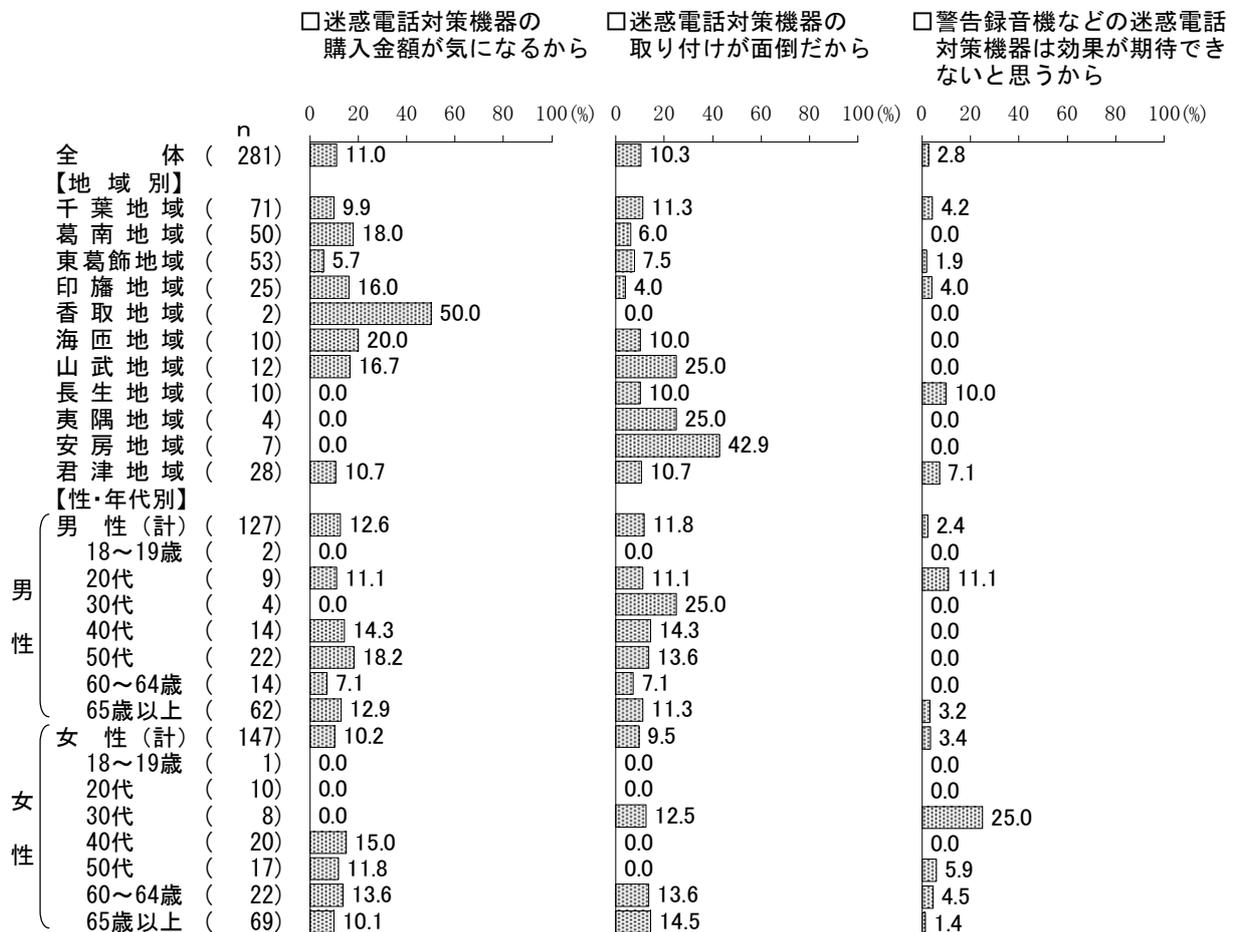
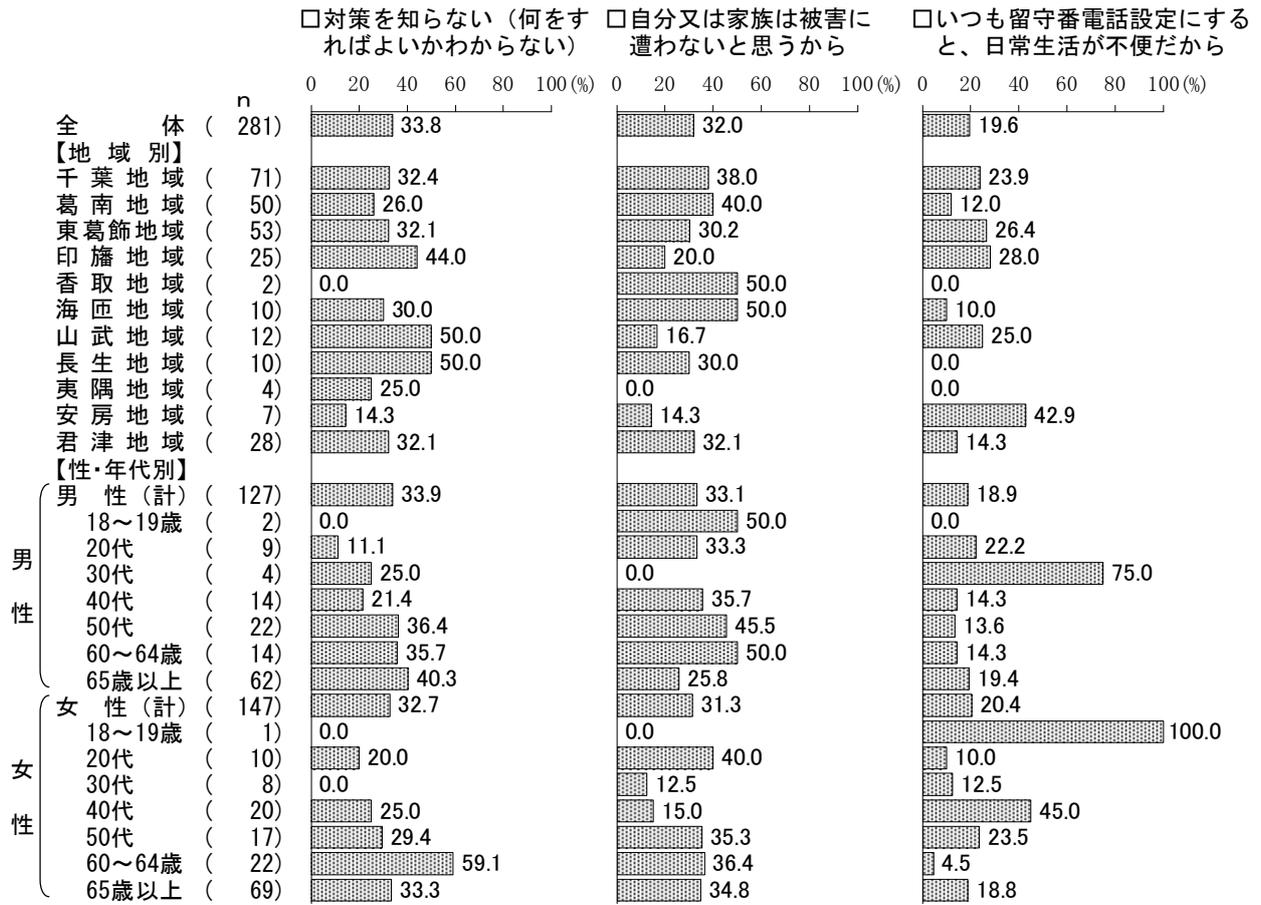
【性・年代別】

性・年代別にみると、「対策を知らない（何をすればよいかわからない）」は女性の60～64歳（59.1%）が約6割で高くなっている。

「いつも留守番電話設定にすると、日常生活が不便だから」は女性の40代（45.0%）が4割台半ばで高くなっている。（図表3－4）

<図表3-4> 自宅の電話機への対策をとっていない理由（複数回答）

／地域別、性・年代別（「その他」以外の上位6項目）

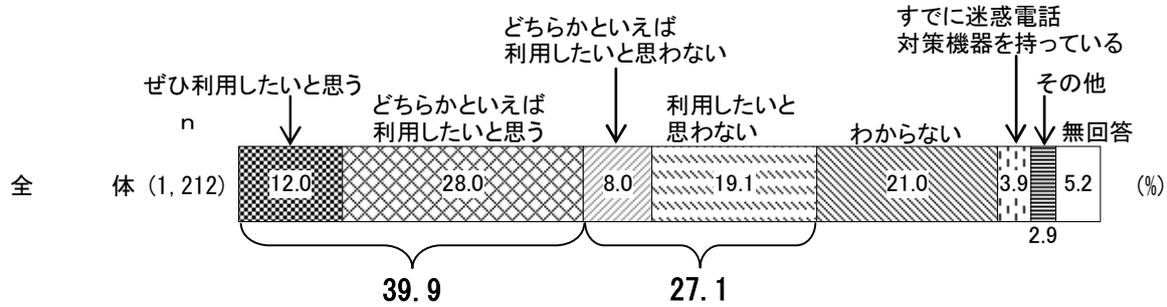


（2）迷惑電話対策機器の利用希望

◇『利用したい（計）』が約4割

問12 あなたは、迷惑電話対策機器について、行政などによる貸し出しや購入への補助があれば、利用したいと思いますか。（○は1つ）

＜図表3-5＞迷惑電話対策機器の利用希望



迷惑電話対策機器について、行政などによる貸し出しや購入への補助があれば、利用したいと思うか聞いたところ、「ぜひ利用したいと思う」（12.0%）と「どちらかといえば利用したいと思う」（28.0%）を合わせた『利用したい（計）』（39.9%）が約4割となっている。

一方、「どちらかといえば利用したいと思わない」（8.0%）と「利用したいと思わない」（19.1%）を合わせた『利用したいと思わない（計）』（27.1%）が約3割となっている。（図表3-5）

【地域別】

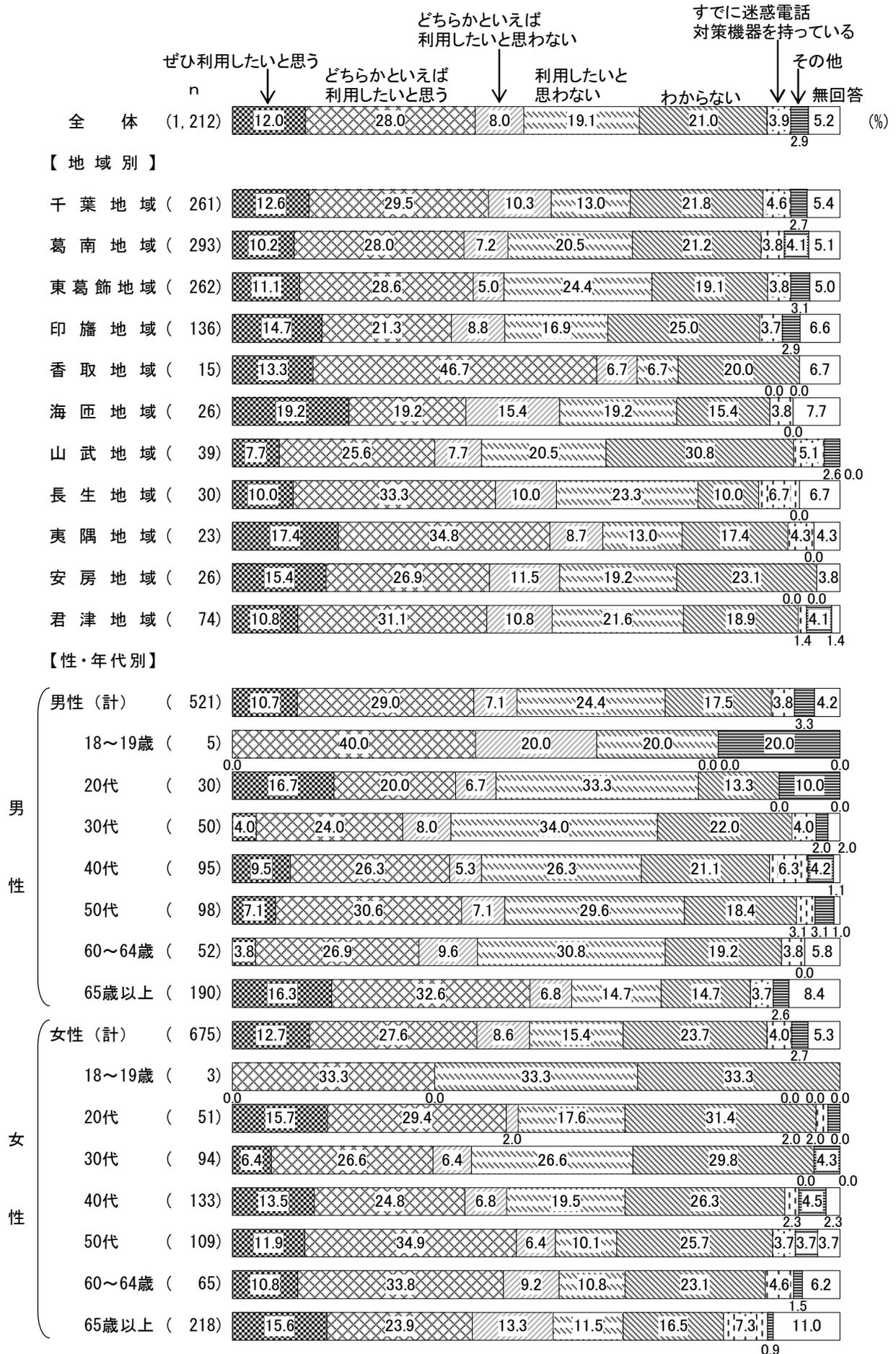
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表3-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用したい（計）』は男性の65歳以上（48.9%）が約5割で高くなっている。

一方、『利用したいと思わない（計）』は男性の30代（42.0%）が4割を超え、男性の60～64歳（40.4%）が4割、男性の50代（36.7%）が3割台半ばで高くなっている。（図表3-6）

<図表3-6> 迷惑電話対策機器の利用希望／地域別、性・年代別

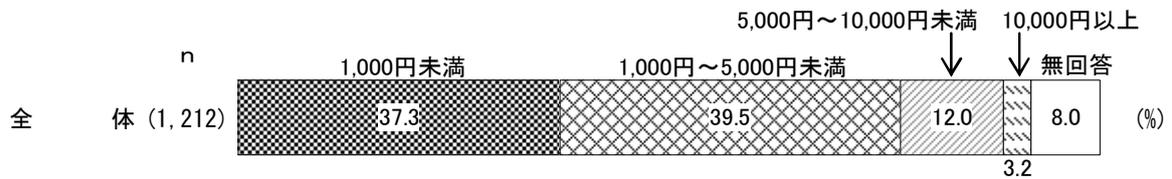


（3）迷惑電話対策機器の費用負担希望

◇「1,000円～5,000円未満」と「1,000円未満」が約4割

問13 あなたは、迷惑電話対策機器の購入や、留守番電話機能の付いた電話機の購入など、自宅の電話機への対策のために費用が必要な場合、いくらくらいまでなら費用を出そうと思いますか。（○は1つ）

<図表3-7> 迷惑電話対策機器の費用負担希望



自宅の電話機への対策のために費用が必要な場合、いくらくらいまでなら費用を出そうと思うか聞いたところ、「1,000円～5,000円未満」（39.5%）と「1,000円未満」（37.3%）が約4割で高く、以下、「5,000円～10,000円未満」（12.0%）が続く。（図表3-7）

【地域別】

地域別にみると、「1,000円～5,000円未満」は“夷隅地域”（65.2%）が6割台半ばで高くなっている。

「5,000円～10,000円未満」は“海匠地域”（26.9%）が2割台半ばで高くなっている。

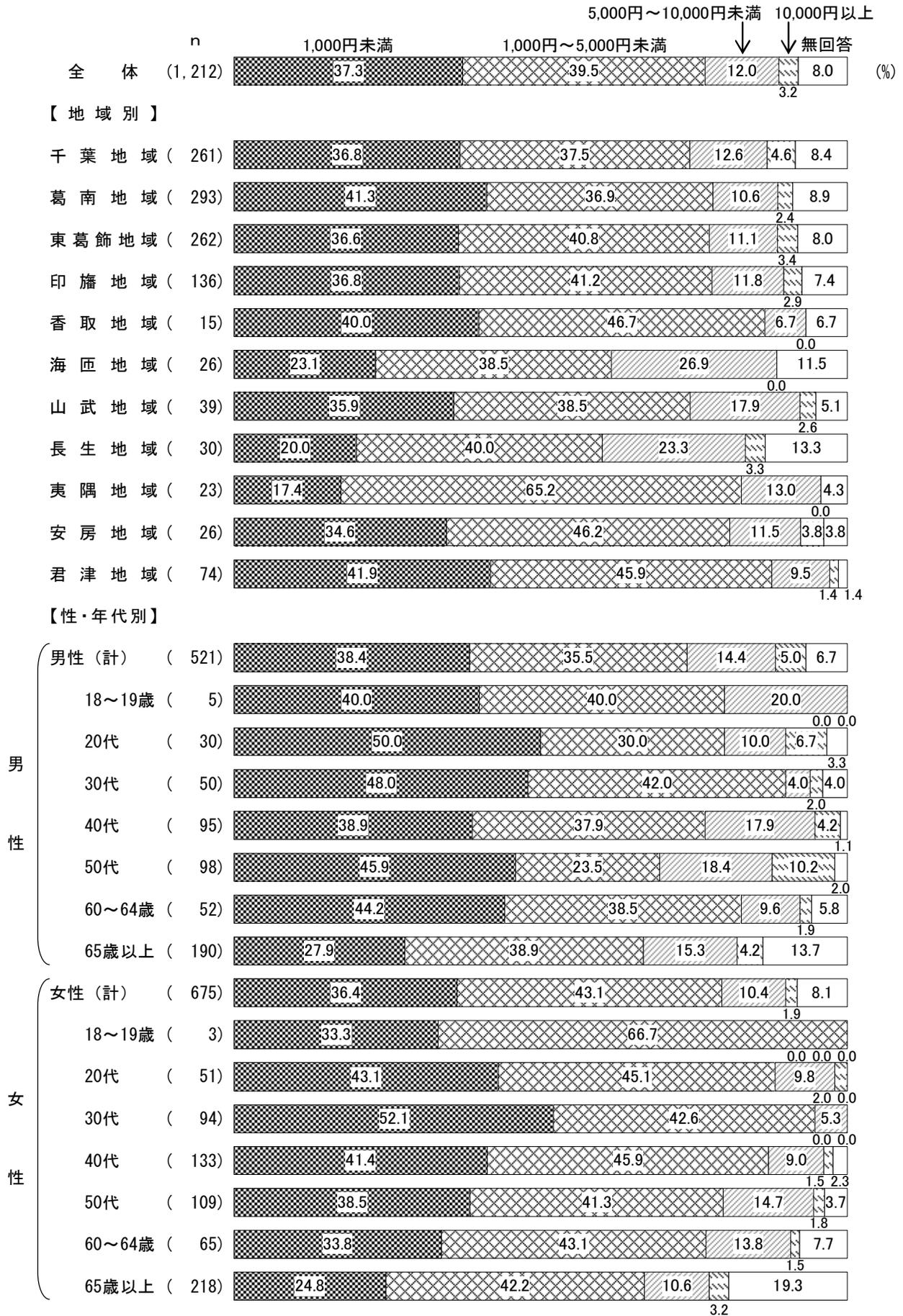
（図表3-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「1,000円未満」は女性の30代（52.1%）が5割を超えて高くなっている。

（図表3-8）

<図表3-8>迷惑電話対策機器の費用負担希望／地域別、性・年代別



このほかに、「電話d e 詐欺への対策」やここまでの質問（問11～問13）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、161人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「電話d e 詐欺への対策」の自由回答（抜粋）

- 機能が複雑だと、対策機能付きの電話機でも使用しないおそれがあるので、可能な限り簡素で利用しやすいものがよいと思われる。（女性、40代、葛南地域）
- ナンバーディスプレイの月々の利用料をもっと安くしてほしい。（女性、50代、東葛飾地域）
- 固定電話も良いが、今は携帯電話の対策も必要。携帯電話の詐欺対策を強化してほしい。アプリや、留守電をオプションにしない、録音時間を長くするとか。（女性、30代、印旛地域）
- 現状留守電機能はほとんど使っていません。自宅が留守であることを教えるようなものだという考え方もあります。迷惑電話対応機器には何度か遭遇しましたが、「ほほえましい」という感はあるけど嫌な気にはなりません。テレビでも放映されていますが、これすら見たことがないという人もいます。どんな層にもどんな家庭にも周知できるような方策が必要かと思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- ひとり暮らしの母は携帯電話のみで、我が家は女性のみなので、他の家より詐欺電話がかかってくる可能性は少ないと思い、まだ何も対策はしていません。（女性、60～64歳、千葉地域）
- 1日に異なる電話番号へ多量に発信する電話について、1件でも被害報告があれば、その発信を交換機で規制するサービスを作ってほしい。（女性、50代、葛南地域）
- どうしてオレオレ詐欺等がますます増えているのか不思議でなりません。銀行のATMに何らかの工夫を考えた方が良いのではないですか。私も含め、高齢者をどうこうするのはなかなか大変だと思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- 被害が一向に変わらない現状を考えると、これまでの対策手段に加え、抜本的な別の方法が必要なのではないかと感じます。しかし、被害者の特徴や傾向がわかりませんので、そのあたりのデータを持っている方による新しいアイデアが望まれます。（男性、50代、葛南地域）
- 税金で購入の補助を出すのはどうかと思います。他のことへ使ってほしい。（女性、40代、千葉地域）